

ある一生

激動の20世紀、
不条理な運命に
翻弄された80年―。
それでも、彼は幸せだった。



3月

美しいアルプスの風景
と共に描かれる主人公
の素朴さと生き方に
「幸せな一生とはなに
か」と考える時間をく
れるヒューマンドラマ。

※日本語字幕付

『ある一生』
115分 / 2023年 /
ドイツ＝オーストリア
©2023 EPO Film Wien /
TOBIS Filmproduktion München



おす
すめ
ポ
イ
ン
ト

世界40言語で翻訳、160万部以上発行されたベストセラーの映画化!

2025年 3月16日 日・17日 月

10:00 ~ / 13:30 ~

可児市文化創造センター ala 映像シアター

料 金：全席指定 900 円 25才以下 450 円

発売日：2025年 1月 12日 (日) 9:00 ~

※電話予約は翌 13日 (月・祝) 9:00 ~

主催 公益財団法人可児市文化芸術振興財団、アラ映画祭実行委員会



私たちに魔法をかけるような、
力強い叙事詩 —Filmstars

波乱万丈の人生を駆け抜けた後、
涙が溢れそうになる —OutNow

「愛」と「充実感」についての寓話であり、成果重視の現代社会を映す鏡である
—ハンス・シュタインビッヒラー監督

1900年頃のオーストリア・アルプス。孤児の少年アンドレアス・エッガーは渓谷に住む、遠い親戚クランツシュトッカーの農場にやってきた。しかし、農場主にとって、孤児は安価な働き手に過ぎず、虐げられた彼にとっての心の支えは老婆のアーネルだけだった。彼女が亡くなると、成長したエッガーを引き留めるものは何もなく、農場を出て、日雇い労働者として生計を立てる。その後、渓谷に電気と観光客をもたらすロープウェイの建設作業員になると、最愛の人マリーと出会い、山奥の木造小屋で充実した結婚生活を送り始める。しかし、幸せな時間は長くは続かなかった……

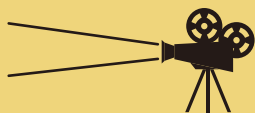


いっしょに映画の企画をしませんか？アール映画祭実行委員大募集！！

アール映画祭実行委員会は2025年で発足20年を迎えます。
そこで、映画事業を盛り上げてくれるメンバーを大募集！
記念すべき年、一緒に映画の企画をしませんか？

「映画の企画ってどんなこと？」
「私の大好きなあの作品をスクリーンで観られるの？」
「参加の頻度はどれくらい？」
などなど、実行委員がどんな活動をしているのかお話しします。
ぜひ説明会にご参加ください！

アール映画祭実行委員の
活動はこちら → →



説明会

日時：3月22日(土)、または4月12日(土)
いずれも15:00~16:00

会場：可見市文化創造センターアール 2F
ワークショップルーム洋室

右記二次元コードより、または
お電話(0574-60-3311)にて
ご応募ください。



▼ チケット取り扱い

可見市文化創造センター ala・インフォメーション

Tel.0574-60-3050

9:00-19:00 火曜休館／祝日の場合は開館・翌平日休み



インターネット
予約対象



Webページ

▼ お問い合わせ

可見市文化創造センター ala

〒509-0203 岐阜県可見市下恵土3433-139
URL <https://www.kpac.or.jp> TEL.0574-60-3311
9:00-22:30 火曜休館／祝日の場合は開館・翌平日休み